

社会的養護下における

# 子どもたちに対する 大学進学支援

学習支援

アフタフォロー

奨学金

宮崎県内の児童養護施設の大学進学率は、全国平均よりも低い上に施設間に差があります。

宮崎県の子どもの貧困に関する連携推進協議会は、宮崎県内の社会的養護下の子どもたちを対象にした給付型奨学金を創設しました。さらに、Swing-By は、塾や大学が近郊になくボランティアの確保も難しい児童養護施設と協働して学習支援事業を行い、子どもたちの学習要求に応じてきました。しかし、進学率はそれほど上昇していません。

児童養護施設や生活困窮家庭の子どもたちの学習支援に携わっていると、目の前の子どものうちにも、「授業がわかるようになりたい」「勉強ができるようになりたい」「こんな高校に行きたい」「大学に進学したい」といったニーズがごく普通にあることに、あらためて気づかされます。しかし、学習支援は、支援者のボランティアに頼りがちであり、助成金の獲得状況に左右されてもいます。

社会的養護にある子どもたちのケアと支援は、施設やボランティアに還元され、社会全体の問題にはなっていないのではないかと。学びたいという誰もが持つニーズを満たすのに特別な困難を抱え、私たち支援者に学びと工夫を必要とする子どもたちに、どう向き合っていくのか。

本フォーラムでは、子どもたち自身の声をていねいに聴きながら、社会的養護下における子どもたちに対する支援を最前線で担っている多様な方々に登壇していただき、**学習支援だけではない多様で多角的で支援の全体像を共有しつつ、構造的に支援のあり方を検討いたします。**

ぜひ、ご参加いただき、子どもたちの未来を拓く在り方にご意見をいただければ幸いです。

## 【第一部】

## スピーチ&amp;エール

## 子どもたちの未来を拓く

～みやざき子ども未来奨学金が描く未来地図～

■コーディネーター：日永純治（NPO 法人 Swing-By 事務局長）

■登壇者：

みやざき子ども未来奨学金 第2期 予約奨学生

みやざき子ども未来奨学金 第1期 奨学生

川野珠弥（児童養護施設みんせいかん支援員）

為実弘毅（NPO 法人 Swing-By 理事）

小山圭一（宮崎県福祉保健課主幹）

小川祐司（宮崎日日新聞社報道部部长）

■総括コメント：盛満弥生（宮崎大学教育学部准教授）

## 【第二部】

## パネルディスカッション

## 児童養護施設に在籍する

## 子どもたちに対する大学進学支援

学習支援・奨学金・アフタフォロー

■コーディネーター：高橋好香（NPO 法人 Swing-By 代表）

■パネリスト：

中里晋三（NPO 法人 Living in Peace 代表理事）

鬼東咲子（退所児童等アフターケアセンターフォーラ・支援コーディネーター）

湯田拓史（宮崎大学教育学研究科准教授）

2018年12月16日[日] 13:00-16:00

場所

宮崎大学 330 記念交流会館  
コンベンションホール

参加無料

要・事前申込：お名前、所属、ご連絡先を明記の上、12月10日(月)まで

申込先：宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター 統括リーダー 竹内元 宛

✉ [gengen@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:gengen@cc.miyazaki-u.ac.jp)

☎ Fax.0985-58-5287

みやざき  
子ども  
未来基金

